

【分詞(後置修飾)を含まない長文読解】

【解答】

- (1) イ オ ア カ エ ウ (2) イ (3) twelve (4) ア
(5) ① イ ② カ ③ ケ ④ ア ⑤ サ

【解説】

- (1) 全文は It was a large park which had a lot of trees. 「それは木のたくさんある大きな公園でした。」となる。*この文の which は主格の関係代名詞で、先行詞は a large park。
(2) 下線部は「心配しないで。わたしの(腕時計)は大丈夫です」という意味。直前でサラが「まあ、わたしは腕時計を壊してしまいました！ わたしは時刻がわかりません。」と言っているの、キャシーはイの「わたしの腕時計がわたしたちに時刻を教えてくれるので、心配する必要はありません。」ということ伝えてしようとしたと考える。
(3) 直前に「サラはまたキャシーに時刻をたずねました。」とあり、キャシーが答えた時刻が空所にあたる。本文18行目にサラが「あなた(=キャシー)は昼食前にもそう言いました。」と言ったとあり、本文12~13行目にキャシーは「今は12時です。」と言ったとあるので、twelveが入ると考える。
(4) 直後でサラが「日時計がわたしたちに正しい時刻を教えてくださいました。」と答えていることから、母親は「それでは、どうやってあなたたちはいつ公園を出るべきかを知ったのですか。」と聞いたと考える。
(5) 【全訳】

ある日、三姉妹はグリーンパークにピクニックに出かけました。

家を出る前に、彼女たちの母親は彼女たちに①ニックが彼女たちに会いに来る予定なので4時に戻ってくるように言いました。彼女たちが家を出たとき、②キャシーとサラが腕時計をもっていました。そのため彼女たちは4時に家に帰ることができると思いました。

彼女たちは③10時30分に公園に着き、バレーボールをし始めました。昼食前にひとつの腕時計が壊れ、それからもうひとつの腕時計が止まりました。しかし④ベティーが公園に日時計があることを知っていて、それ(=日時計)が彼女たちに正しい時刻を教えてくださいました。そのため彼女たちは公園を⑤3時30分に出て、4時に家に着きました。

【全訳】

キャシー、サラとベティーは小さな村に住んでいる姉妹でした。暖かく、晴れた日でした。それで彼女たちはグリーンパークにピクニックに出かけることに決めました。家を出る前に、彼女たちの母親は彼女たちに「お願いだから4時に戻ってきてね。あなたたちのおじさんのニックが4時にここに来る予定で、彼はあなたたちに会いたがっているの。腕時計をもっている？」と言いました。「はい、お母さん。サラとわたしはお母さんがわたしたちに買ってくれた腕時計をもっているわ。」とキャシーは言いました。彼女たちは母親に別れのあいさつを言い、10時に家を出ました。

彼女たちが公園に着くの30分かかりました。①それは木のたくさんある大きな公園でした。鳥たちが木で歌っていました。「バレーボールをしましょう。」とベティーが言い、彼女たちはそれを始めました。まもなくして、彼女たちがバレーボールをしているときにサラは転び、腕時計を壊してしまいました。彼女は「まあ、腕時計を壊してしまったわ！ わたしは時刻がわからないわ。」と言いました。「②心配しないで。わたしの(腕時計)は大丈夫よ。」とキャシーは言いました。「それじゃあ、今は何時？」とサラはたずねました。「今は12時よ。昼食を食べましょう。」とキャシーは答えました。彼女たちはベンチに座り、昼食を食べ始めました。昼食後、彼女たちはまたバレーボールをして楽しみました。それはとても楽しく、彼女たちは長い間それをしました。

数時間後、サラは「今、何時だろう。わたしたちは4時に家に帰らなければならないわ。」と思いました。

サラはまたキャシーに時刻をたずねました。キャシーは「③12時よ。」と言いました。サラは彼女の答えを聞いて驚き、「あなたは昼食前にもそう言ったわ。腕時計をもう一度見て。」と言いました。キャシーは「まあ、止まってしまっているわ。ベティーは腕時計をもっていないわ。わたしたちは時刻がわからないわ。」と言いました。「わたしはわかるわ！」とベティーが大きな声で言いました。キャシーとサラは「あなたは腕時計をもっていないわ。どうやって時刻がわかるの？」とたずねました。

ベティーは公園の中に日時計があることを知っていました。彼女はそこへ行き、「3時30分よ。わたしたちはもう公園を出るべきね。」と言いました。それで、彼女たちは公園を出ました。

彼女たちが家に着いたとき、彼女たちの母親は彼女たちに「あなたたちはいい子ね。4時に戻ってきたわ。あなたたちのおじさんはちょうど着いて、あなたたちを待っているわよ。」と言いました。サラは「お母さん、わたしは腕時計を壊してしまったの。その腕時計はわたしたちに時刻を教えてくれなかったの。キャシーの(腕時計)も教えてくれなかったわ。」と言いました。「④それじゃあ、どうやってあなたたちはいつ公園を出るべきかを知ったの？」と母親はたずねました。サラは「日時計がわたしたちに正しい時刻を教えてくれたのよ。ベティーが公園に日時計があることを知っていたの。」と答えました。

【関係代名詞(主格)を含まない長文読解】

【解答】

- (1) ① second ② ㉑ (2) A ウ B イ C ア D エ (3) pet(s)

【解説】

(1)① 本文4～11行目参照。最初の空所の前後で1年生と3年生のことについて述べ、次の空所の前後では3年生が入学試験の勉強のために週末を一人で過ごしたいと思っていることを受けて、春奈は来年、入学試験を受けると述べている。

② 本文4～8行目参照。「友だち」を選んだ1年生は半数を超え、3年生は16人だとあるので、グラフ中のCを見ると、㉔が1年生で㉑が3年生だとわかる。したがって㉑が2年生だとわかる。

(2) 本文4～7行目より、グラフ中のCがfriends「友だち」だとわかり、本文7～8行目に3年生の約半数が「一人」を選んだとあるので、Aがalone「一人」だとわかる。また、本文12～13行目より、Bがfamily「家族」だとわかるので、Dがothers「その他」だと考える。

(3) 本文15～16行目参照。「その他」を選んだ全員がそれは彼らのペットだと言ったとある。

【全訳】 こんにちは、みなさん。わたしは150人、各学年50人の生徒に「週末にだれと過ごしたいですか。」とたずねました。わたしは彼らにその質問に答えてもらいたかったのです。彼らは「友だち」か「家族」か「一人」か「その他」かを答えとして選びました。グラフを見てください。

半分以上の1年生が「友だち」を選びました。20人の2年生も「友だち」を選びました。彼らは友だちといっしょにスポーツをしたり買い物に行ったりすることは楽しいと思っています。わたしたちはふだん、これは10代の少年少女にはあてはまると思っています。しかし、3年生にとってはそうではないとわかりました。彼らのうちの16人は「友だち」を選びましたが、もっとたくさんの生徒が「一人」を選びました。これは3年生の約半分でした。わたしは彼らにどうして『一人』を選んだのかたずねました。すると、彼らのうちの多くが入学試験にむけて勉強しなければならないと言いました。わたしはそれを聞いて悲しく思いました。なぜならわたしは2年生で、来年、入学試験を受けるからです。

『家族』を選んだ生徒の数は最も少なかったのです。それはわたしには驚くべきことです。わたしは家族といっしょにたくさんの場所へ出かけます。

「その他」を選んだ生徒も何人かいました。彼らの全員がそれはペットだと言いました。初めは、わたしは彼らはわたしの質問を理解していないと思いましたが、今では、わたしはこれらの生徒にとってペットは友だちや家族のようなものなのだと言えます。

【関係代名詞(目的格・接触節)を含まない長文読解】

【解答】

- (1) ウ (2) five (3) エ

【解説】

- (1) 本文9～12行目参照。浩太には(浩太以外に)兄弟が3人いると思った女性店員は、浩太に自分自身にも1枚写真を買ってはどうかと言ったと考える。
- (2) 本文5～6, 11～12行目参照。アメリカでは兄弟の数を聞かれたときに自分を数に入れないとあるので、アメリカの男の子が「4人の兄弟がいる」と言うときは彼の家族には5人の(=five)男の子がいるとわかる。
- (3) ア(×) その女性店員は浩太にたずねることなく、彼が兄弟のために写真を何枚か買いたいと思っていたということを知っていました。*本文3～5行目参照。店員は浩太にたずねている。
- イ(×) 浩太は美しい湖の写真を何枚か買うことに決めました。そしてそれらのうちの3枚が彼の兄弟のためのものでした。*本文7, 10～11行目参照。3枚のうち2枚が兄弟のためのものだとわかる。
- ウ(×) 浩太はアメリカの人々は兄弟の数をたずねないということを聞いて驚きました。*本文5行目参照。女性店員は浩太に兄弟が何人いるかたずねている。
- エ(○) 浩太は外国の人々の言葉話す前に、彼らの文化を理解すべきだと思っています。*本文15～16行目参照。

【全訳】 去年の夏、英語を勉強するためにアメリカに行ったとき、ぼくは英語と日本語との違いをいくつか見つけました。これはそのひとつです。

ある日、ぼくは兄弟に何かを買うためにある店へ行きました。その店で、女性店員がぼくのところに来て、ぼくが何を探しているかをたずねました。ぼくは「ぼくは兄弟への写真を何枚か探しているのです。」と言いました。彼女は「あなたは兄弟が何人いますか。」と言いました。ぼくは「3人兄弟です。」と言いました。彼女はほほえみ、「これらの写真はどうですか。」と言いました。それらは美しい湖で撮られた写真でした。ぼくはそれらが気に入り、彼女にそれらのうちの3枚をくれるようにたのみました。すると彼女は「①あなた自身にもう1枚(写真を買っては)どうですか。」と言いました。ぼくはこれを聞いたとき、彼女(の言っていることが)理解できませんでした。ぼくは「それらのうち1枚がぼくのためのものです。」と答えました。彼女は「でもあなたは兄弟が3人いるのですよね。」と言いました。ぼくは「はい。だから1枚がぼくのためのもので、その他(の2枚)が兄弟のためのものです。」と言いました。すると彼女はぼくに「ああ、あなたはあなた自身を数に入れているのですね。アメリカではそうしないので、わたしはあなたの家族には4人の男の子がいると思いました。」と言いました。ぼくはそれを聞いてとても驚きました。今ではぼくは次のことがわかっています。アメリカの男の子が「ぼくは兄弟が4人います。」と言ったとき、彼の家族には②5人の男の子がいるということです。

ぼくは「ぼくたちは外国語を話す前に、それを話す人々の文化を理解することがとても大切です。」と言いたいです。

【間接疑問文を含まない長文読解】

【解答】

- (1) ① イ ② ウ (2) イ (3) エ

【解説】

(1)① 本文8～9行目で警察官は「わたしたちは7日間、その犬を預かっています。」と言い、本文11～12行目で「わたしたちはさらに3日間彼を預かり、そして彼を殺すことになります。」と言っているのです。10日間預かることがわかる。

② 本文9行目で警察官は「その犬の飼い主は1日につき20ドル払うべきです。」と言っている。

(2) 本文14～17行目参照。少年は市長にバディーの飼い主になるようには言っていない。

(3) ア(×) バディーはその年老いた男の家によく行きました、というも彼らはとてもよい友だちだったからです。*本文1～3行目参照。年老いた男とバディーはいっしょに住んでいた。

イ(×) その女性にとって警察官にお金を払うことは簡単でした。*本文10～11行目参照。女性は飼い主ではないので、お金を払わなかった。

ウ(×) 少年はお金をもっていなかったため、警察官はその少年にバディーをあげませんでした。

*本文14～16行目参照。警察官が少年にバディーをあげなかったのは、飼い主は大人でなければならなかったためである。

エ(○) 市長はバディーをその町の住民にすることでバディーを救いました。*本文18～20行目参照。

【全訳】

小さな町に住んでいる年老いた男がいました。彼はバディーという犬といっしょに住んでいました。彼らはとてもよい友だちでいつもいっしょにいましたが、数年後、その年老いた男は死んでしまいました。毎晩、バディーは彼の飼い主の墓へ行き、一晩中そこにいました。

ある朝、警察官が通りでバディーを見かけました。彼は「あれは飼い主のいない犬だな。わたしたちは彼を捕まえないといけない。」と思いました。それで彼はバディーを捕まえ、警察署へ連れていきました。

町の女性のひとりが警察署へ行き、警察官に「わたしたちはみなバディーが好きなのです。わたしにバディーをください。」と言いました。「わたしたちは7日間、その犬を預かっています。その犬の飼い主は1日につき20ドル払うべきです。だからあなたは140ドル払うべきなのです。」と警察官は言いました。「わたしは飼い主ではないので払いません。」とその女性は言いました。「それではわたしたちはあなたにその犬をあげません。わたしたちはさらに3日間彼を預かり、そして彼を殺すことになります。①それが法律です。」と警察官は言いました。

町の人々はそのことを聞き、悲しく感じました。そのうちのひとは動物が大好きな②少年でした。彼はバディーのためのお金を集めるために警察署の前に立ちました。その次の日、彼はそのお金を警察署へもってきました。しかし警察官は「犬の飼い主は大人であるべきです。わたしたちはあなたに犬をあげることはできません。」と言いました。それからその少年は市長のところへ行き、彼に「バディーを救ってください。」と言いました。「わかりました。わたしにできることが何かあると思います。」と市長は言いました。市長は警察署へ行き、警察官に「この町の多くの人はバディーが大好きです。わたしはバディーをわたしたちの町の住民にしようと思います。」と言いました。このようにしてバディーは救われたのです。

【tell[want など]+人+to 不定詞を含まない長文読解】

【解答】

- (1) ① ウ ② エ (2) ① (3) エ (4) ウ (5) call, after, two[2] (6) エ

【解説】

- (1)① 本文7～8行目でダイアナは座席番号を答えているので、係員は「あなたは座席番号を覚えていますか。」とたずねたと考える。
- ② 直後でダイアナは自分のかばんと例2のかばんの形が似ていると話しているの、係員は「あなたのもの(=かばん)と似ているかばんが見えますか。」とたずねたと考える。
- (2) ①の it は、ダイアナのかばんについている「青い荷札」を指し、⑦, ⑨, ⑫の it は、「ダイアナのかばん」を指している。
- (3) expensive 「高価な」
- (4) ここでの them 「それら」は、直前の文中の a letter and a picture from my parents 「両親からの手紙と写真」を指している。
- (5) 本文23～25行目参照。do so 「そうします」とは、あしたはダイアナに2時以降に電話するということを指している。
- (6) ア(×) ダイアナはけさ、大阪に行くために電車に乗り、その中にかばんを置き忘れました。 *本文1～2, 5行目参照。ダイアナは、大阪から東京に戻ってきたことがわかる。
- イ(×) ダイアナのかばんと例2は同じ形で同じ色です。 *本文11～12行目参照。形は似ているが、色は例2のかばんが黒でダイアナのかばんは白だということがわかる。
- ウ(×) ダイアナの名前と電話番号は荷札に書かれているので、彼女はだれかがかばんを見つけて自分に電話をかけてくれることを願っています。 *本文に電話番号が書いてあるという記述はない。
- エ(○) 係員はダイアナの座席番号はラッキーナンバーの7だったので、すぐにかばんを取り戻せると言っています。 *本文29～30行目参照。

【全訳】 ダイアナは東京の高校生です。彼女は大阪にいる兄を訪ねたあとで東京駅にいます。彼女は駅で係員に話しかけています。

ダイアナ: すみません。わたしは電車にかばんを置き忘れたと思います。

係員: どの電車に乗ったのかわたしに教えてください。

ダイアナ: きょう10時に新大阪を出発したのぞみに乗りました。

係員: ①座席番号を覚えていますか。

ダイアナ: いいえ。ああ、ちょっと待ってください。わたしは切符もっています。わたしの座席番号は1号車の7Aでした。

係員: わかりました。あなたのかばんはどのようなものですか。ここにいくつかの種類の一般的なかばんを表している写真が何枚かあります。②あなたのものと似ているかばんが見えますか。

ダイアナ: ええと、わたしのかばんの形は例2に似ていますが、色は黒ではありません。わたしのかばんは白です。そして⑦それには青い荷札がついています。

係員: なるほど。④それにはあなたの名前が書かれていますか。

ダイアナ: はい。わたしの名前はダイアナ、D-I-A-N-Aです。

係員: わかりました。かばんの中には何か③高価なものが入っていますか。

ダイアナ: いいえ。⑦それには衣服と本が入っています。財布と携帯電話は自分でもっています。でもかばんの中には大切なものが2つ入っています。それらは両親がわたしにくれた手紙と写真です。わたしは④それらだけは取り戻したいのです。

係員： わかりました。わたしたちはあなたのかばんが見つけれたらあなたに電話します。あなたの電話番号を教えてください。

ダイアナ： もちろんです。わたしの電話番号は、050-1234-XXXX です。

係員： わかりました。あなたはダイアナ…

ダイアナ： ダイアナ・ウィルソンです。わたしはきょうはいつでも電話に出られますが、あしたは午後2時より前には電話に出られません。ですから、そのあとでわたしに電話をしていただけますか。

係員： わかりました。⑤そうします。

ダイアナ： ありがとうございます。ああ、もし⑥それが見つからなかったらどうすることになりますか。その手紙と写真はわたしにはとても大切なのです。

係員： 心配しないでください。あなたの座席番号はラッキーナンバーの7ですよ。すぐにあなたのものを取り戻せますよ。

ダイアナ： そうだといいいのですが。